

夢に向かって一歩ずつ

子どもによる、子どものための、子どもの活動

今年度の治田小グランドデザインに、「**学級・学年を超えて、よさ『らしさ』を見つける**」「**子どもが主体**」という言葉があります。その、願う姿の実現に向かって、今年度は児童会がまさに「主体的」に、縦割り活動に取り組んでいます。もう、本当に素晴らしい！！

過日、仲良し集会で初めて、「縦割り班」で“ジェスチャーゲーム”をしました。これまで、異学年での交流の場、グループでの活動の機会が少なかった治田小の子ども達ですので、リーダーの6年生は、緊張しながら活動をリードしていました。 「**楽しんでくれていたか不安**」「**もっと大きな声で話せば良かった**」・・・終わった後の振り返りでは、相手の反応に自信を持てずにいる6年生もいましたが、低学年からの「面白かった！」「またやってほしい」という声を聴き、「**やってよかった**」「**仲良しパークも頑張る**」と、気持ちを前に向けていきました。

そうやって、「**どうしてだろう**」「**もっと良くなるにはどうしたらいいだろう**」悩み、考えることこそが、“問題解決の力を育てる”ことにつながっていくと、私は考えます。そして、「**やって良かった**」の実感の積み重ねが、その子に深い納得と確かな自信を育てていく。

秋はこのように、各委員会の「らしさ」輝く縦割り活動が展開されます（例えば環境美化委員会の「姉妹学級対抗牛乳パック集め」であるとか、放送委員会の「各クラス好きな曲ランキング 放送紹介」とか・・・）。**子ども達による、子ども達のための、子ども達の活動がどう展開され、どんな学びの姿が生まれていくのか**（一歩踏み出していること自体、もう感動！！）、しっかり見守っていきたいと思っています。



9月の様子（学年入れ替わりで紹介していきます）

【2年】～ドキドキ 乗り物遠足～

26日（金）子ども達が楽しみにしていた「乗り物遠足」に行ってきました。天気にも恵まれ、とても楽しい遠足になりました。子どもたちは、校外の公共の場でも、事前に学習したルールを守り、立派な態度で電車に乗ったり見学したりすることができました。2年生の成長を感じることができました。

今年度は、小諸懐古園が周年行事で動物園の見学ができなかったため、目的地を茶臼山動物園と恐竜園に変更しました。お家の方と何回か行ったことのあるお子さんもいましたが、やはりクラスのみ



んなと行く遠足は楽しかった様子でした。「楽しかったから、またみんなで行きたい！！」これが多くの子ども達の感想でした。

決められた金額で自分のおやつを買い、ドキドキしながら駅で切符を購入し、友だちと仲良く動物園や恐竜園を楽しむといった、ドキドキやわくわくの初体験がたくさんあった今回の遠足は、子どもたちに自信と大きな喜びと与えてくれました。思い出に残る1日になりました。

【5年】～米不足の世の中、稲刈りできたよ～

9月12日（金）には、学校の田んぼの稲刈りを5学年で行いました。春から米作りを開始して、地域の方に助けてもらいながら、自分たちも田植えをしたり、田んぼの水の量を確認したりしながら、収穫の秋を迎えることができました。

稲刈りは、朝から地域の方が4人もボランティアで助けに来てくださり、稲刈り用の鎌の使い方や稲束をジュートひもで束ねていく結び方などを教えていただきました。



その後、田んぼの外側を子どもたちが稲刈り鎌を交代で使って刈り取り、ジュートひもで稲をばらけないように縛りました。ざくざくと稲を着る感触に歓声をあげながら切りました。ひもで縛るのはなかなかきつくならず、最初は苦戦しながらしぼりあげていました。やっていくうちに、稲刈りが得意になった人、縛るのが得意になった人、田んぼに落ちていた稲や刈り残した稲を集める人など、自分から仕事を見つけて作業をしていました。中央は、稲刈り機で刈り取り、三脚や長い棒を組み

合わせて「ハゼ」を作り、刈り取った稲束をハゼに7：3で分けて詰めてかけていきました。最後にみんなで落ちている穂を拾いましたが、昨年から米不足が社会問題になっているので、子どもたちはいねいに拾って集めていました。きちんとハゼかけができたきれいになった田んぼを見て、疲れたけど楽しかったと頑張った笑顔でした。

